

社会科の基本方針

1 社会科で目指す子ども

社会的事象（以下：事象）の特色や相互の関連、意味を追究し、よりよい社会の形成につながる概念をとらえたり、社会の一員として事象へのかかわり方を考えたりする子ども

社会科では、問題解決的な学習を通して「よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うこと」が重視されている。そのために、概念的な知識をとらえる学習と、社会へのかかわり方を考える学習を充実させることが必要である。

概念的な知識をとらえる学習では、子どもは始めに事象の目的や要因等を追究する学習問題を設定する。それに対する予想を視点に、課題解決の方法に見通しをもつ。そして、社会的な見方や考え方をを用いて、調査活動や諸資料を通して様々な情報（事実や結果）を収集する。その中で、必要に応じて思考ツールやタブレット端末を活用する。最後に、情報を総合して事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える。このようにして、社会の中で汎用的に使うことのできる概念的な知識をとらえる子どもを目指す。

社会へのかかわり方を考える学習では、子どもは始めに社会に見られる課題について事象へのかかわり方を選択・判断する学習問題を設定する。そして、複数の立場で討論したり問題を改善する活動に取り組んだりする。その中で、必要に応じて思考ツールやタブレット端末を活用する。そして、情報を比較・関連付け、総合して、考えをまとめたり伝えたりする。このようにして、事象へのかかわり方を考えることで、これからのよりよい社会づくりへの関心を高めていく子どもを目指す。

2 豊かに考える子どもを育む授業づくり ○ 第3学年

自分の生活と地域の人々の工夫とを関連付け、外国とのかかわりの意味を考える子ども

八幡は、第3学年において、世界の国々とのかかわりへの関心が高まるように、外国とのかかわりがあることで生活が豊かになっていると考える子どもを目指す。

そのために、地域の人々の工夫について、外国とのかかわりを追究せざるを得ない問いをもたせ、それを解決させる。その後、解決した事例を視点に一般化へと向かう展開にすることで、外国とのかかわりの意味を考えられるようにする。この課題解決の過程で、見方や考え方を働かせ、資質・能力を発揮させる。その自覚を促して、資質・能力の育成を図る。

○ 第5学年

社会の諸問題と生活の事実を関連付け、事象にかかわる考えを深める子ども

大矢は、第5学年において、社会に見られる諸問題の解決に向けて、社会の一員としてこれから自分が事象にどのようにかかわるのかを考える子どもを目指す。

そのために、社会の諸問題と自分たちの生活の事実を関連付けた問いをもたせ、事象へのよりよいかかわり方を追究させていく。このとき、小グループで提案を考えさせたり、提案の相互評価を行わせたりすることで、子どもは社会科の資質・能力だけでなく、教科横断的に様々な資質・能力を発揮する。

また、他教科や各種教育の学習内容とも関連を図り、単元開発を行っていく。

3 社会科で育成する資質・能力

	第3・4学年	第5学年	第6学年
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○社会生活に関する知識 ・地域の様子は場所によって違いがあること ・地域の産業や消費生活の仕事に携わっている人々は工夫していること ・地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の対抗策や安全を守るための対策や事業が行われていること ・人々の生活の変化には願いや希望があることや地域の発展に尽くした先人の働きや苦心があること ○具体的資料を効果的に活用する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会生活に関する知識 ・我が国の国土の様子は場所によって違うこと ・国土の環境と国民生活とは密接な関連があること ・我が国の産業は国民の生活を支えていることや自然環境と深い関係があること ・情報化の進展は国民生活に大きな影響を与えていること ・実社会の事象に関する諸問題の知識 ○基礎的資料を効果的に活用する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会生活に関する知識 ・国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産があること ・日常生活における政治の働きについて、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること ○基礎的資料を効果的に活用する技能
② 思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象の意味、特色や相互の関連を多角的に考える力 ○社会に見られる課題を把握して、解決に向けて学習したことを基にして社会へのかかわり方を選択・判断する力 ○根拠や理由を明確にして、社会的事象についての自分の考えを論理的に説明する力 ○他者の主張につなげたり、立場や根拠を明確にしたりして、社会的事象についての自分の考えを主張する力 		
③ 態度	<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会に対する誇りと愛情をもち、地域社会を大切にしようとする態度 ○地域社会の一員としての自覚をもち、よりよいまちづくり協力しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○我が国の国土に対する愛情をもち、環境の保全や自然災害の防止に努めようとする態度 ○社会の一員として、持続可能な社会の実現に向けて、よりよく課題解決しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○我が国の歴史や伝統に誇りと愛情をもち、大切にしようとする態度 ○社会の一員として、豊かな暮らしの実現に向けて社会に参画しようとする態度 ○世界の国の人々と共に生きていこうとする態度

4 社会科の学習で働かせる見方・考え方

	第3・4学年	第5学年	第6学年
見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○位置や空間的な広がりに着目すること ○時期や時間の経過、人物の業績に着目すること ○事象や人々の相互関係に着目すること ○人々の工夫や努力、思いや願いに着目すること ○原因と結果の関係に着目すること ○事象を比較・分類、総合して考えること ○地域の人々や国民の生活と関連付けて考えること 		

